

第2回

もっと幸せな医療研究会

テーマ：レジリエンス resilience

復元力、弾力、回復力 = しなやかな強さ

逆境の体験はどなたにでもあります。その際、自分、メンバーと、どのようにコミュニケーションされていますか？リーダーシップやコーチングの手法を用いて克服されたご経験がありますでしょうか？最近の研究では、幸福度が高い人は、逆境体験への適応能力が高い事が明らかになりました。医療、介護の業務をめぐるエビデンスやアプローチの変化は大きく、スピードも速くなっています。現場の管理者は、求められる役割も多くなっているため、心が折れそうになるほどのストレスやプレッシャーに直面することも少なくありません。今回は、ヘルスケア業界に従事されている方の求められるレジリエンス（逆境体験の適応）を皆さんと考えてゆきたいと思います。

日時 2022年12月14日（水）19:00～20:30

会場 Web（Zoom）先着**100**名様

会費 無料

Opening : 豊島 久雄

（日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所）

講演 「レジリエンス 効果と向上」

福田 徹

（救急科専門医）

モデレーター：シュナック 千賀子

（スリーロック株式会社 取締役 コーチングファシリテーター）

お申込み
Peatix

URL : <http://ptix.at/3oJJX6>



お問い合わせ

もっと幸せな医療研究会事務局

MAIL mottoshiawasena@gmail.com

全国医療経営士 自主研究会

Opening 豊島久雄氏

日本経済大学 ファーマシーマネジメント研究所 非常勤講師
第4回 医療経営に関する研究助成

レジリエンスという言葉から何を想像されますか？

私は自然環境で珊瑚礁の回復力を例に考えます。幸せ（Well-Being）とレジリエンスは密接に関係しており、今回は、個人、家族、仕事等様々なシーンからもっとWell-Beingになるためにレジリエンスの観点から皆さんと考えてゆきたいと思います。



講演 福田徹氏

元日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科 医長
第10回 全国医療経営士実践研究大会【審査委員奨励賞】

同じ職場で同じ仕事をしていても、元気に前向きに働く人もいれば、暗く後ろ向きになっている人もいます。「レジリエンス」という言葉は比較的新しい言葉ですが、昔から「打たれ強さ」という言葉はありました。きっと昔から大切だと考えられていたのだと思います。今回はレジリエンスを高める「効果」と「高め方」について考えます。



モデレータ シュナック千賀子氏

スリーロック株式会社 取締役 コーティングファシリテーター
第4回 医療経営に関する研究助成

信頼関係がある場においては、ミスやトラブルも力を合わせて乗り越えやすいですね。普段のコミュニケーションが危機を乗り越える力となります。レジリエンスについて皆さんと考えていきましょう。

